

# 津ライスニュース 平成27年産第4報

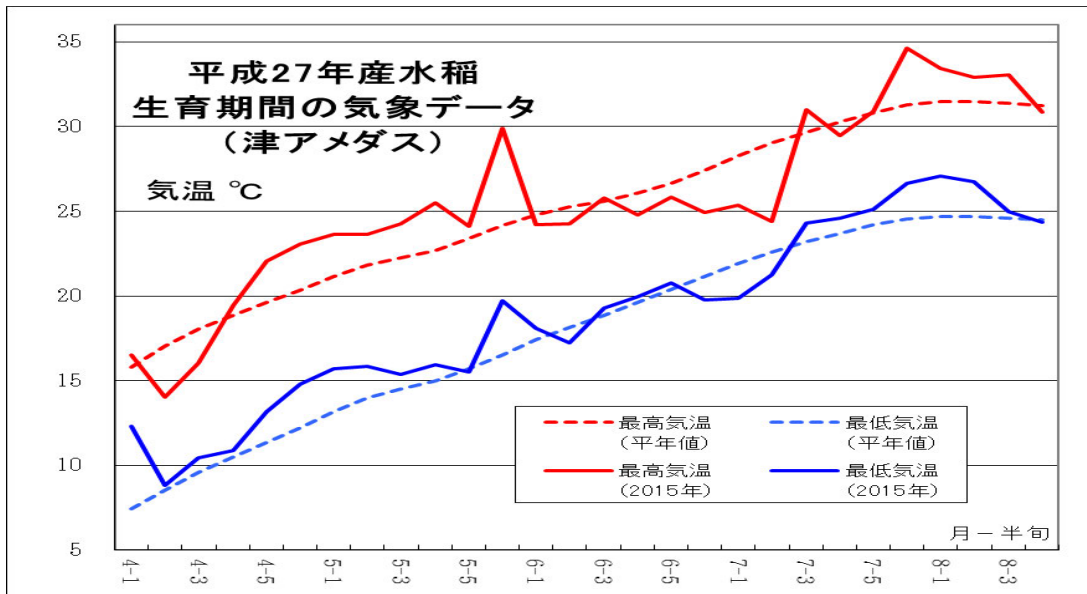
平成27年8月20日

津地域農業改良普及センター 電話:059-223-5121

## 気象経過

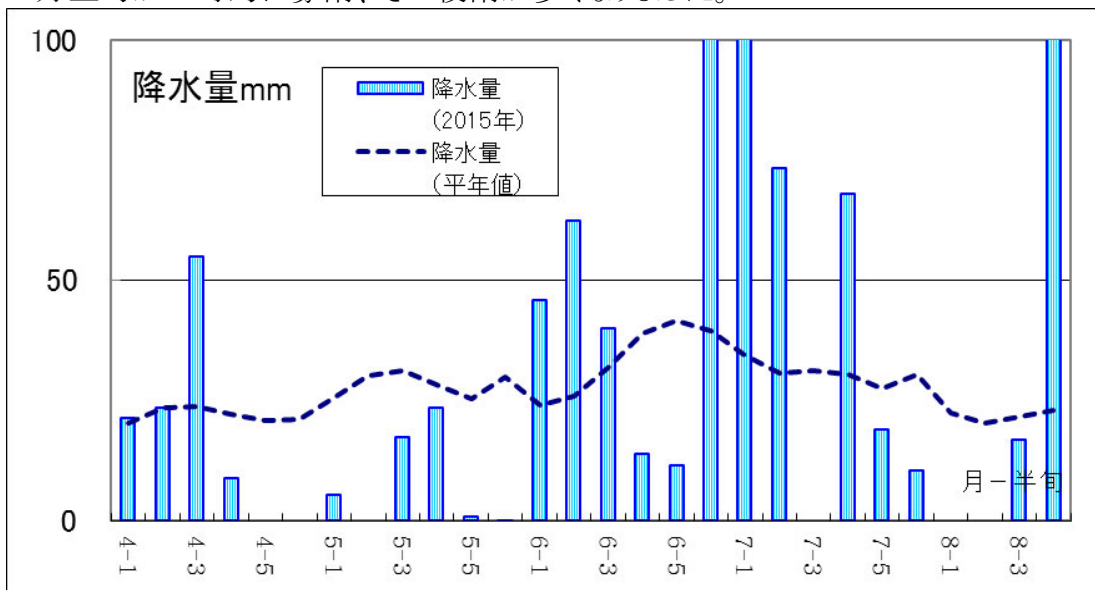
### <気温>

4月中旬以降、気温は高めに経過し、特に5月末頃の気温が高くなりました。  
6月に入り最高気温を中心に低温傾向となり、7月中旬頃からは高温傾向が続きました。



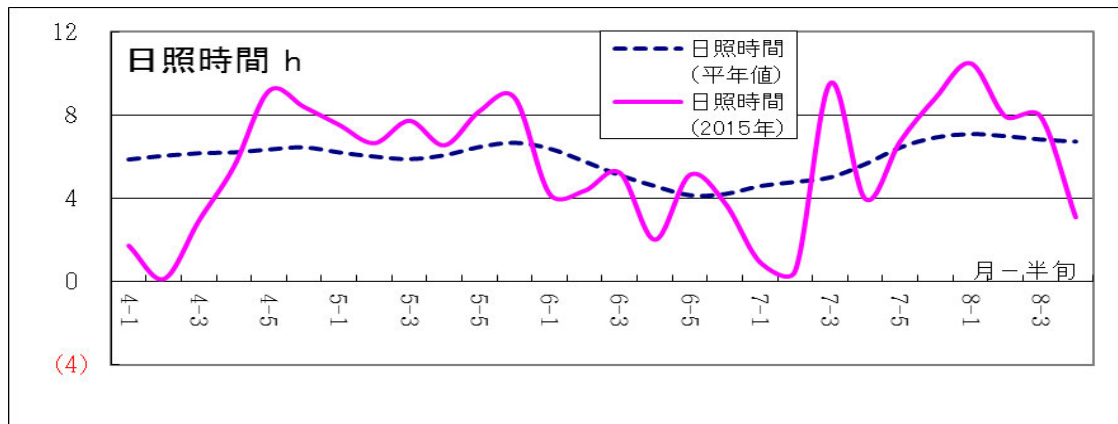
### <降水量>

4月中旬に一時雨が多かったもののその後降水量は少なく、6月に入って雨が降るようになりました。6月末から7月は停滞する前線の影響で降雨量がかなり多くなりました。8月上旬が一時的に寡雨、その後雨が多くなりました。



## <日照時間>

4月中旬以降、晴れた日が多く、6月入ってからは一転して曇天傾向が続いています。7月下旬からは晴れた日が多くなりました。



## 生育の概況

津管内の生育基準田でも生育は順調で、前年同時期と比較すると葉齢の進展はやや早く、草丈は長く、茎数もやや多い状況となっています。出穂時期も平年より早い傾向でした。

7月16、17日の台風11号の襲来により、稲葉身の褐変や穂擦れ等が観察されており、収量への影響が懸念されます。

成熟期のデータを見ると、稈長がやや長い傾向にあります。

○水稲(コシヒカリ)生育基準田の調査結果 (平成27年8月19日現在)

品種名	調査地点	移植日	稈長	穂長	穂数		出穂期
						(本/株)	
コシヒカリ	殿村	4.21	90	19.8	283	23	7/10
	一志町井生	4.25	85	18.2	424	22	7/20

【参考】前年同時期の調査結果 (平成26年8月14日現在)

コシヒカリ	向井	4.26	89	20.6	316	19	7/20
	一志町井生	4.29	81	18.8	317	15	7/19

## 今後の栽培管理

### <水管理>

- ・出穂期は、水を保ちます。出穂後から収穫7日前までの期間は間断灌水を続けます。水をかける場合はなるべく夕方に行いましょう。
- ・水の溜めすぎは根の老化や根腐れの原因となります。(根数は出穂前20日頃に最大となり、出穂期には新根がほとんど出なくなります)
- ・早期落水は未熟粒や胴割れ米等が多発し玄米の品質が低下するので、落水は収穫前7日以降としましょう。(玄米の大きさは開花後25日頃に決まります)

### <適期収穫>

・穂の基部に緑色籾数が3～4粒程度残る頃が収穫適期です。また、コシヒカリでは籾水分が26～28%の頃が収穫適期となります。

・早刈りは未熟粒(青米や充実不足)の増加、刈り遅れは茶米や胴割粒の増加となり、いずれも品質が低下します。本年は8月上旬の高温・多照により成熟期が早まる傾向にあります。品質向上のために適期収穫を励行しましょう。

水稻生育予測		2015/8/20現在		
品種	移植期	幼穂形成期の予測日	出穂期の予測日	成熟期の予測日
コシヒカリ	4月25日	6月26日	7月20日	8月22日
	5月5日	7月3日	7月26日	8月27日
	5月30日	7月20日	8月11日	9月15日
三重23号	4月25日	6月20日	7月13日	8月13日
	5月10日	7月1日	7月23日	8月22日
みえのゆめ	4月25日	7月5日	7月30日	9月3日
	5月30日	7月20日	8月28日	10月3日

※三重県農業研究所作成の生育予測システムVer.9.2による生育予測です。  
気象庁アメダス津観測地点データ(直近10カ年の平均気温)を使用しています。